

令和7年度

### 一宮小学校 「学力向上実行プラン」

#### 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①自ら考え、主体的に学習に取り組む学習活動の実践
- ②考えを伝え合い、学び合う授業の実践

校長

秦 啓子

学力向上推進員

阿部 沙苗

#### 【各校の取組状況の把握について】

教員からの報告や提案、テスト、学校評価アンケートの結果等を元に、定期的に取り組み状況の情報交換・見直しを行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

#### （１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○真面目に授業に取り組む児童が多い。</p> <p>○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着してきている。</p> <p>●文章を読むことに抵抗があり、内容を正確に読み取ったり、活用したりすることに課題がある。</p> <p>●読書が苦手な児童が多い。</p>	<p>・学年に応じた、読み、書き、計算の基礎的な力を確実に身につけ、様々な学習場面で活用できる。</p> <p>・タブレットを活用し、復習問題を解いたり、調べ学習をしたりすることができる。</p> <p>・自分で本を選び、読書を楽しみ、文字を読むことに慣れる。</p>	<p>・漢字や算数のミニテストを定期的に行ったり、ミライシードやキュービナを活用して繰り返し問題に取り組んだりする。</p> <p>・日記、朝の会のスピーチ、読書等を通して、語彙力を高める。</p> <p>・担任による読み聞かせや、縦割り班での読書活動、全校児童への図書室利用の呼びかけ等を行うことで読書の習慣化を図る。</p>	<p>具体的方策の継続に加えて、</p> <p>・主語、述語や国語・漢字辞典の使い方など、基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・図形を構成する要素、グラフや表の読み取り方など、基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・具体物を活用し、知識の定着を図る。</p>	<p>読み、書き、計算の基礎的な力は身につけている。しかし、既習内容の活用にまでは到らなかった。</p> <p>・タブレット端末を調べ学習には使えたが、他の教材を使用したこともあり、個別の能力に応じた復習問題を解くまでには到らなかった。</p> <p>・読み聞かせや読書の呼びかけ等、様々な読書活動を行い読書の習慣化を図った。しかし、自分で進んで読むまでには到っていない。</p>	<p>・各学年の基礎的な力を確実に身につけるために定期的な復習を継続して行う。</p> <p>・タブレット端末の個別最適化等、効果的な活用方法について研修を行う。</p> <p>・引き続き、本読みカード、「多読賞」の表彰、おすすめの本の紹介、ライブラリーデー、縦割り班読書、家庭読書等を通して、読書の習慣化を図る。</p>

#### （２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○友達や教師の話や話を聞く態度が身に付いてきている。</p> <p>○作文や手紙、行事の感想等において、文章で表現できる児童が多い。</p> <p>●語彙力が少なく、自分の考えに自信をもてない児童がいる。</p> <p>●自分の考えや思いを、筋道を立てて説明したり、友達の考えと比べてよりよい考えを練り上げたりすることに課題がある。</p>	<p>・話し手がどんな内容の話をしているのかを、最後まで落ち着いて、正しく聞き取ることができる。</p> <p>・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら、自分の言葉で表現することができる。</p>	<p>・タブレットやホワイトボード、付箋等を用いて、自分の考えや思い述べる場を設定する。</p> <p>・話し方、聞き方のモデルを教室に掲示し、常に意識させる。</p> <p>・こども新聞を活用し、感想を書いたり、伝え合ったりする活動を行う。</p>	<p>具体的方策の継続に加えて、</p> <p>・「書く」時間を設定し、書くことに慣れていくようにする。(日記、作文、感想、手紙など)</p> <p>・文章を要約したり、必要な情報を選んだりする活動を繰り返し行う。</p>	<p>・聞き方のモデルが提示できず、聞き方に課題が見られる。</p> <p>・書く活動を意識的に取り入れることで、自分の考え等を書く機会を多く設定できた。</p> <p>・タブレットを使って伝えたいことをまとめたり、発表したりすることができた。</p> <p>・何のためにするのか、児童に目的意識をもたせることが難しかった。</p>	<p>・文章を書くときのヒントになるよう、文章の書き方の手引きを作成する。</p> <p>・「書く」活動を継続して行い、書くことに慣れていくようにする。</p> <p>・聞き方のモデルを作成し、常時意識できるようにする。</p> <p>・体験等活動を絡め、目的意識・相手意識をもって「書く」「話す」活動をする。</p> <p>・書く目的に合わせた書き方を指導する。</p>

#### （３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題は真面目に取り組む、最後までやり遂げる児童が多い。</p> <p>○静かに話を聞き、学習規律を守ろうとする雰囲気や育ってきている。</p> <p>●課題を解決するために、見通しをもったり、計画的に取り組んだりすることに課題がある。</p> <p>●難しいことに粘り強く取り組んだり、競い合い高め合ったりする意欲に乏しい。</p> <p>●宿題以外で家庭学習に取り組む児童は少ない。</p>	<p>・課題解決に向けて、見通しをもって計画を立てることができる。</p> <p>・難しい課題に対して、友達と協力して取り組むことができる。</p> <p>・自主学習の内容を自分で決めて取り組むことができる。</p>	<p>・本時のめあてをはっきりさせ、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p> <p>・児童が主体的に取り組めるような学習活動や体験活動を取り入れる。</p> <p>・「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と連携しながら家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>・ポジティブな行動支援を行い、子どもが自信をもって取り組めるようにする。</p>	<p>具体的方策の継続に加えて、</p> <p>・授業の隙間時間に、復習プリントをしたり、ミライシードで復習をしたりして、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>・初めにめあてを提示することで、見通しをもって学習に取り組むことができた。</p> <p>・友達と力を合わせて活動できた場面も多いが、やる前から「できない」と諦めることもあった。</p> <p>・「家庭学習の手引き」を作成したが、十分活用されなかった。</p>	<p>・引き続き、本時のめあてを明確化し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p> <p>・「できた」という成功体験を積むことができるよう、賞賛等の言葉がけや振り返り等で自覚させる。</p> <p>・ある程度やり方が定着できるよう、自主学習ノートの使い方やまとめ方を学校で指導する。また、家庭学習の手引きを見直し、定期的活用していく。</p>